

学校図書館支援センター通信 NO.73 1月号

平成25年度 市川市学校図書館支援センター（市川市教育センター）



明けまして
おめでとう
ございます

学校図書館活用で育む豊かな心！

読書センター、学習・情報センターとしての機能を充実させている学校図書館は、子どもたちの学習だけでなく、様々な活動も支えています。図書の活用を通して、子どもたちが日々成長し、意欲的に活躍している姿をご紹介します。

中学校&保育園の連携 第七中学校（研究協力校）

第七中学校では、図書委員会の生徒が敷地内にあるすえひろ保育園の園児と読み聞かせを通して交流を行っています。

お昼寝明けの午後3時半過ぎに第七中学校の生徒が訪問して紙芝居を始めると4・5歳の子どもたちは大喜びで観ていました。

紙芝居の後には、園児が自分で選んだ本を中学生のお兄さんやお姉さんに読んでもらいました。中学生は自分の弟や妹を世話するように園児に優しく読み聞かせを行っていました。2・3歳の子どもたちは、始めはちょっとはにかんでいましたが次第になれてきて、自分から進んでお兄さんやお姉さんに好きな本を差し出して読んでもらっていました。



中学生は読み聞かせをしながら園児に問いかけをしたり、園児の問いかけにやさしく答えたりしながら交流を深めていました。最後に、中学生が園児の首に手作りサンタのペンダントをかけてあげると、みな嬉しそうに微笑んでいました。本を通じた交流は、毎学期行われ、回数を重ねるたびに中学生と園児との絆が深まり、豊かな心を育てているようです。



作家のたまごがいっぱい 南新浜小学校



南新浜小学校では、年2回行われる読書月間でさまざまな取り組みが行われています。その中で今年度初めて行った「作家に会おう！」（物語作り）は子どもたちに大好評で、6月と11月の2回にわたって行われました。「としよかんねずみ」の読み聞かせをきっかけに、子どもたちが作家になったつもりで物語を作り、集まった作品の中から校長先生が「南新浜小作家大賞」を選んで未来の作家の表彰を行いました。

第一回（6月）の応募数は92作品で、子どもたちの興味関心の高さと創作への意欲が感じられました。大賞のほかには優秀賞・図書委員賞・参加賞があり、応募者全員に手作りのしおりがプレゼントされました。

作品は学校図書館の特設コーナーに展示され、図書館の中で全校の子どもたちが読めるようになっています。

南新浜小学校から生まれた作家のたまごたちが、将来プロの作家としてデビューする日が来るかもしれませんね。

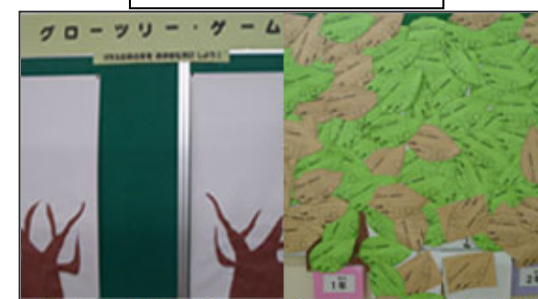


図書館の窓から ～ひろげよう・図書館の輪・リレー執筆～

塩浜小は全校児童152名と小規模校のため、異学年の交流が盛んでみんなとても仲良しです。今年度の読書まつりは、読書郵便、先生おすすめ本のスタンプラリー、グローツリー・ゲーム、辞書引き大会、お話し給食週間、図書委員のパネルシアター発表、お話しボランティア「まつぼっくりさん」の公演と盛り沢山で、8名の図書委員は大忙しでした。

グローツリー・ゲームは、読書郵便で勧められた本を読み、葉っぱのカードに「書名・分類記号・面白かった度を表す星マーク等」を書いてクラスごとに木を育てていく取り組みです。子どもたちは友だちや他学年から勧められた本を一所懸命に読んでカードを書きました。特に低学年には予想以上の人気イベントとなり、立派な本の木が育ちました。仲良し兄弟姉妹のような児童の交流を、今後とも読書活動に生かしていきたいと思っています。

グローツリー・ゲーム



まつり前 ⇒ まつり後

市川市立塩浜小学校 学校図書館員 坂本 真理

テーマごとに読書紹介をしよう 百合台小学校



百合台小学校では研究主題「自分の思いを豊かに表現できる子」の育成を目指して、4年生の国語で読書紹介を行いました。

自分たちで考えたテーマに沿ってお勧めの本を選書し、さらにその中から数冊をピックアップして、グループごとに紹介をしました。

紹介の仕方も様々で、お勧めの本を手元に語りかけたり、図や表を使って示したり、ブラックシアターや書画カメラ等の機器を活用したりとバラエティーに富んだ発表形態でした。発表の内容も図書の紹介だけでなく、「なぜその本を選んだのか。どこがお勧めポイントなのか。どのように読んでほしいのか」まで掘り下げ、発表原稿を手になさることなく堂々と自分の言葉で伝えていました。

終わった後は、「読みたい本はあったか。呼びかけの工夫はあったか」等の視点を踏まえて話し合い、お互いに自分たちの思いを伝え合いました。

市川市の学校図書館は、読書センター、学習情報センター機能を備えています。授業の際は、学校司書や学校図書館員のレファレンスや図書の活用と並行して、パソコンや新聞等の資料についても学習の目的に合わせて活用していただきたいと思っています。また、ICT機器の利用も合わせて行うことで、子どもが自分の思いを様々な表現方法でつたえることができようになりますので、積極的な活用をお願いいたします。



【お知らせ】1月21日（火）第3回学校図書館研修会・ネットワーク会議を開催します。平成25年度の学校図書館支援センター事業における研究の成果と課題について、研究協力校による実践発表を予定しておりますので、今後の各学校の実践の中に取り入れていただきたいと思っています。

『学校図書館支援センター通信』は、市川市教育センターホームページでもご覧いただけます。

市川市学校図書館支援センター（市川市教育センター）

〒272-0015 千葉県市川市鬼高1-1-4

TEL 047-320-3335 FAX 047-320-3352

<http://www.ichikawa-school.ed.jp/index.html>

